

## 身体拘束等の適正化 指針・マニュアル構成図

(法人共通・内部説明用)

位置づけ	文書名	主な内容・役割
最上位	身体拘束等の適正化に関する指針	<ul style="list-style-type: none"><li>・法人としての基本方針</li><li>・原則禁止、例外は三要件のみ</li><li>・委員会設置、研修、見直し</li></ul>
運用ルール	身体拘束マニュアル	<ul style="list-style-type: none"><li>・身体拘束の定義</li><li>・三要件の判断基準</li><li>・代替手段の考え方</li><li>・現場対応フロー</li></ul>
運営体制	身体拘束適正化委員会運営マニュアル	<ul style="list-style-type: none"><li>・委員会の目的・役割</li><li>・事例検討、再発防止</li><li>・研修企画・評価</li></ul>
記録・証跡	身体拘束記録様式・議事録	<ul style="list-style-type: none"><li>・身体拘束記録用紙</li><li>・委員会議事録</li><li>・説明・同意の記録</li></ul>

※ 本構成図は、運営指導・委員会説明・管理者引継ぎ時の理解促進を目的としています。

指針は「考え方」、マニュアルは「動き方」、委員会資料・記録は「運用の証拠」という位置づけです。